



三重県ユニセフ協会機関誌

みえユニセフレター

Mie Unicef Letter 2025

Vol.23
2025.9

理事就任 ご挨拶

平井 孝憲 理事

2025年6月の異動により、五十嵐前中勢支社長の後任として、理事に就任いたしました百五銀行 中勢支社長の平井です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、三重郡菰野町に兼業農家の長男として生まれ、高校までを菰野町で過ごし、大学4年間は東京で生活を送りました。大学時代はバブル期と重なったこともあって、少々景気のいい生活を送らせていただいたと思っています。

当時の世界と比べると、現在は地域紛争、気候変動による自然災害、感染症の蔓延などが起こり、深刻な食糧不足や貧困、経済の格差につながっているように感じます。そして、これらの代償は子どもたちが支払うこととなり、最近ではパレスチナ・ガザ地区での子どもたちの姿をニュースで見かけると胸が痛くなります。

これまでは現状を見て憂っているだけでしたが、これからは、このユニセフ活動を通じて平和と子どもたちの明るい未来の実現に少しでも貢献できるよう努めていきたいと考えています。

私ども百五銀行と三重県ユニセフ協会とは、2012年の協会設立当初から深いお付き合いがあり、長い間活動を共にしております。

現在、百五銀行グループは、森林保全やCO2排出量削減、子どもたちへの金融リテラシー教育、各種ボランティア活動、スポーツ振興への取組み、女性活躍に向けた取組み、障がい者（チャレンジ）雇用の展開、健康経営の実施などにより、本業を通じ地域の社会的課題の解決と経済発展の両立を目指しており、この活動が地域の子どもの明るい未来につながるものと信じております。

今後も微力ではございますが、地域社会に根ざす金融機関として、子どもたちの健やかな成長と平和な未来の実現に貢献できるよう努めてまいります。



平井 孝憲
株式会社百五銀行
執行役員 中勢支社長

日本ユニセフ協会 団体賛助会員様 (敬称略、2025/8/31 現在)

万協製菓(株)、井村屋グループ(株)、生活協同組合コープみえ、コープみえ虹の会、(株)三十三銀行、三重県生活協同組合連合会、日本トランスシティ(株)、(株)百五銀行、三重大学生活協同組合、三重交通(株)、(株)スズカ未来、辻製油(株)、(株)ユタカ開発、名四ゴルフ(株)、(株)ウエノテック、ICDA ホールディングス(株)、(株)岡田商事、(株)ミヤムラ、(株)トピア、(株)ビーイング、正和製菓(株)、(株)アイケーディー、(株)日本フェニックス、(株)ワニナル、(株)おやつカンパニー、(株)ARTS、(株)ケアクレスト、(株)日硝ハイウエー、中川電化産業(株)、九鬼産業(株)、(株)ライフ・テクノサービス、(株)夢現装建

子どもたちの明日へ、企業の力を！

日頃より団体賛助会員としてユニセフの活動を温かく支えてくださっている皆さまに心より感謝申し上げます。今後、子どもたちの未来を支える企業の活動を順にご紹介してまいります。第一回は (株)スズカ未来 のユニセフ活動に迫ります。

SUZUKA 株式会社スズカ未来

おいしさと品質のパートナー

～「食べ物の品質を守り、おいしさを伝えること」が私たちの使命です～

- 食品パッケージ、企画デザイン、食品資材販売
- 食品検査、分析、食品衛生コンサルティング
- 業務用食品、洋菓子原材料のタスカル通信販売、プロマーケット店舗販売
- 食品開発・改質・改良のための食品添加物、機能性食品材料の提供と技術支援

私たちは「イキイキのびのびあふれる会社づくり」の一環として三重県ユニセフ協会の長期コンセプトに基づき、社員が生活者として考え、自然にユニセフ活動を知り、共感、参加できる工夫をしています。ユニセフ支援活動も働く仲間の正しい人づくりと成長できる仕組みと考えています。

初回は、中日新聞 三重総局長/当協会 評議員 阿部 伸哉 様のご協力を得て、お話を伺いました。
(株)スズカ未来 の取り組みをインタビュー形式でご紹介します。

■「楽しい募金」で定着を／ゴルフ練習も慈善事業に／スズカ未来 会長 末松正守さん



インタビューに答える末松正守会長 (右)
＝スズカ未来本社で

三重県ユニセフ協会が「賛助モデル事業」として紹介しているのが、食品資材販売などを手がけるスズカ未来（鈴鹿市国府町）の活動。「楽しみながらユニセフ募金を」というコンセプトを、従業員290人の会社でどう定着させているのか。現場での数々の工夫を、同社の末松正守会長に語ってもらいました。

(聞き手・文責：中日新聞三重総局長 阿部伸哉)

■トップが率先

一まず、ユニセフと関わるようになったきっかけを教えてください。

個人的には、家内がユニセフのネクタイやハンカチを買ってプレゼントしてくれたこと。30年近く前の話かな。家内は「買った子どもたちへの募金になる」と言っていたんですが、もらっている側は「ユニセフって何？」という程度の認識でしたが。

一それが、会社とのつながりになってきたわけですね。

会社で毎年10月、全社員のほか仕入れ先も招待するパーティーを催すのですが、15年以上前のことですか。経理担当の社員から「飲んで食べて、だけでなく、もう少し慈善につながるようなことができないか」と提案がありました。

そこでまず、障害者雇用をしている会社の代表にパーティーで講演していただきました。三重県ユニセフ協会にも連絡させてもらい、翌年から社内でユニセフへの募金を始めることにしました。

一奥さまからいただいたネクタイがきっかけに？

少し時間がたっていたので、もう意識にはなかったですけど（笑）。会社はおかげさまで売り上げが伸びており、年に1度、会社が社員や仕入れ先に感謝し、懇親を深めてもらう場として「睦（むつみ）会」というパーティーを開いています。その場で社員に世界のことを考えてもらおうという狙いです。世界には「生きるか死ぬか」という、日本とはレベルの違う貧困があります。世界のことを知ってもらうのは社員のためにもなる、と思ったわけです。

一末松会長自ら、「ユニセフ大使」のたすきをかけて会場を回り、募金を呼び掛けるとか。

200人を超えるパーティーで、それぞれのテーブルを回ると、20万円ぐらい集まります。

未来を育む、企業の力。ユニセフとともに、子どもたちの笑顔を世界へ。

■脱脂粉乳の味

一ご自身も「子どものころ、ユニセフのお世話になった」とお話しされていますね。

ユニセフの活動に関わるようになって初めて、日本の子どもたちが1949年から64年まで支援を受けていたことを知ったんです。ぼくはその間に育っているので、お世話になっています。脱脂粉乳の味は今も覚えています。今から思えば支援物資だったんですね。だからなおさら、「お返しをしたい」という意を強くしました。

一パーティーだけでなく、社内で募金の輪を広げる工夫をあちこちにされていますね。社員向けのインドアゴルフ練習場も、募金の仕掛けと聞いています。

ぼくもゴルフやりますし、社内コンペもあります。そこで冬用タイヤや資料の保管場所になっていた倉庫を改造し、インドアのゴルフ練習場を造りました。倉庫は年に2回しか開け閉めしないので、それなら福利厚生施設として改造しよう。社員の力も借りて、23年11月に完成させました。

■仕掛け

一施設を見学させていただきましたが、かなり本格的な施設です。

アプローチ練習、グリーン、バンカー、シミュレーションゴルフがそろっています。アプローチは実戦を想定して逆目のラフからも打てますし、傾斜もあります。グリーンの上は通常営業設定からトーナメント設定まで用意しています。ゴルフをやらない人のために、バーベキューコーナーもあります。

一これを募金とどう絡めているのですか。

福利厚生施設なのですが、シミュレーションゴルフは1人1回1000円、アプローチやパター練習は200円と、利用に応じて「募金」してもらいます。バーベキューコーナーは1人200円です。「募金してくれ」の呼び掛けや、人々が苦しんでいる辛い映像を流すだけでは、正直、息が詰まります。社員が楽しんで、メリットと引き換えに募金してもらえれば、活動が長く続きます。練習場での募金は年8万円ほど集まります。

一社員食堂にも募金への仕掛けがありますね。

食堂では、残った食材をパックにして、それを社員が帰宅時に1パック100円で持って帰れるようにしています。フードロス削減になるし、夕ご飯の一品にもなるわけですね。

■社員教育にも

一共通している考え方は「社員にもメリットが感じられる募金」ですね。

そうでなければ続かない。自分がメリットを実感し、募金箱に入れたお金が、全額ユニセフに行く。パーティーやゴルフの練習、食堂などで集まったお金は合わせて年30万円から40万円になりますが、会社が手数料を取ることはありません。



社員食堂でも募金呼びかけ

一これから賛助会員になろうとする他の企業へのメッセージはございますか。

よそ様の会社に何か言うのは難しいね(笑)。ただ、ぼくは募金活動を「社員教育に利用させてもらっている」とはっきり言っています。社員が楽しみながら、自分が住む世界と対極にいる人たちのことを考えてもらえれば、人づくり、人の心づくりになります。

こうして安定して経営ができているのは、日本が平和だから。今、ウクライナとかガザとか、世界各地の戦乱がニュースになっています。会社経営どころではない世界があります。ユニセフの活動を通して社員の視野も広がれば、きっと社員一人一人の幸せになると考えています。

団体賛助会員募集

貴団体のご参加が、子どもたちの命を守り、未来を照らす一歩となります。

ユニセフの志に共鳴し、ともに進んでくださることを、心よりお願い申し上げます。

公益財団法人 日本ユニセフ協会の賛助会費は、ユニセフ募金や寄付金と同様、寄付金控除の対象になります。

活動報告

活動報告 2月～8月

- 2025/2/6 コープみえ/桑名センター学習会/10:00～12:00
 2025/2/13 CFS研修会/9:30～12:30
 2025/2/18 津商業高等学校人権フィールドワーク/9:00～15:00
 2025/2/24 日本語スピーチコンテスト&ワールドレストラン/12:00～15:00
 2025/2/27-28 事務局長会議/日本ユニセフハウス/
 2025/3/4 一志学園高等学校/学習会
 2025/3/11 理事会/18:00～20:00
 2025/3/12 コープみえ/津南センター学習会/10:00～12:00
 2025/3/14 評議員会/15:30～17:00
 2025/3/14-28 フレンテみえ/パネル展
 2025/4/1-30 百五銀行/橋南支店/パネル展 コープみえ新入協者研修/14:00～15:05
 2025/4/2 コープみえ新入協者研修/14:00～15:00
 2025/4/10 WEB/ユニセフ報告会/予防可能な病気の根絶に向けた[ラスト・ワンマイル]
 2025/4/23 ボランティア学習会/10:00～11:30
 2025/4/27 一志学園創立10周年記念事業[ユニセフラブウォーク]
 2025/5/1 井村屋グループ(株)/学習会/10:30～14:00
 2025/5/16-30 フレンテみえ / パネル展
 2025/6/11 WEB/ユニセフ報告会/一般募金について/15:00～16:00
 2025/6/27 講師研修会/日本ユニセフハウス/中村(ボランティア)
 2025/6/28 フレンテフェスタ2025/10:00～15:00
 2025/7/2 立田丸小学校出前学習会/8:35～9:20
 2025/7/11 外国コイン/日本ユニセフ協会に送付/22.5kg
 2025/7/26 神奈川県ユニセフ協会20周年事業/13:30～16:30
 2025/7/27 コープみえ/わくわくキッズフェスタ/10:30～15:30
 2025/8/1-10 御在所ユニセフDAY/10:00～14:00
 2025/8/1-30 JICA/パネル出展/県立図書館 2 階
 2025/8/2-3 津 平和のための戦争展/9:30～16:30
 2025/8/21-24 フォトジャーナリズム展/10:00～17:00



CFS研修



濱地様ご夫妻

皆さまのご寄付で子どもたちの笑顔と
かけがえのない未来が守られています

募金箱設置店舗のご紹介
(2025/9/22)

店舗名「KAHACHI organic shop」
はまちゃん農園合同会社

発行：三重県ユニセフ協会

TEL：059-273-5722 FAX：059-273-5758

〒514-0009 三重県津市羽所町 3 7 9 コープみえ本部ビル 1 F

E-mail: mie-unicef@sweet.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.unicef-mie.jp

(事務所開設日：月・水・金 10時～17時)